

月見草

左者 宵好

## 月見草

---

彼岸の彼方に咲きしもの。  
灯、ゆふぐれほとほと。庵訪ふかげ久し。  
此岸に咲かぬ月の香に。  
光宿せる花の有り。  
渡す限りの風の辺に。  
吹き散らしてぞ咲き居たり。

ひがんのかなたにさきしもの。  
あかり、ゆうぐれほとほと。いおりおとのうかげひさし。  
しがんにさかぬつきのかに。  
ひかりやどせるはなのあり。  
わたすかぎりのかぜのべに。  
ふきちらしてぞさきいたり。

## 友をいのる

---

はるかなり  
灯さず闇を駆るふねよ  
天に奪われ氷にちぎられて  
魂はかえるか  
いづくのひとへ  
聲はかえるか  
はるかなれ

あおきほこりよ

はるかなり  
ともさずやみをかるふねよ  
てんにうばわれひにちぎられて  
たまはかえるか  
いづくのひとへ  
こえはかえるか  
はるかなれ  
あおきほこりよ